

企画展「歌川広重 うきうき浮世絵 展」

展示期間：2024年2月20日（火）～2024年7月21日（日）

歌川広重の作品を中心に、浮世（江戸時代の“今”のこと）をうきうきと謳歌して生きている「人」に焦点をあてた浮世絵版画の企画展です。

歌川広重の代表作 保永堂版「東海道五十三次」が旅のわくわくを、「京都名所之内」「浪花名所図会」など広重の人気の高い作品が名所を目の当たりにした時のどきどき（感動）を伝えます。また、国芳・芳艶・貞秀といった歌川派の浮世絵師や、広重の名を襲名した門人二代広重や三代広重の作品など、合わせて55点の浮世絵版画を本企画展では展示いたします。

旅行やお祭りなどでうきうきと過ごす江戸時代の人々を、当時摺られたオリジナルの浮世絵版画でどうぞお楽しみください。

ここに注目！

1, 大ヒット作！保永堂版 東海道五十三次から24点を展示

東海道を題材にした浮世絵は数多く版行されました。その中でも爆発的な人気を博したのが、歌川広重が手がけ保永堂が出版した「東海道五十三次」。シリーズから24枚を展示します。

旅の始まりと一日の始まりが描かれた東海道の起点「日本橋」、宿泊客の奪い合いをしている「御油」、突風に笠を飛ばされた旅人が必死で笠を追いかけている「四日市」など、当時の人々の様子がいきいきと描かれている作品たちが、皆様を浮世へ誘います。



歌川広重 東海道五十三次 日本橋

2, 大阪・京都など上方（関西）が舞台の作品も展示

鴨川の河原で納涼を楽しんでいる「京都名所之内 四条河原夕涼」や、活気のある大阪の米市場を描いた「浪花名所図会 堂じま米あきない」など、関西では馴染みのある場所が描かれた浮世絵版画を多数展示します。



歌川広重 京都名所之内 四条河原夕涼

3, ルーペを使って間近でじっくりと鑑賞



当館の展示室内には柵を設けず、無料貸し出しのルーペを使って繊細な浮世絵版画の技術や細かく摺られた模様などを間近でじっくりとご鑑賞頂けます。（数に限りがございます。全て貸出中の際はご容赦ください）

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-23 不二家心斎橋ビル3F 大阪浮世絵美術館

※エレベーター、エスカレーター設備のないビルですので、予めご了承ください。

【開館時間】10:00～17:00（最終入館 16:30）

【休館日】年末年始 ※開館時間・休館日は状況により急遽変更となる可能性がございます。

詳しくはホームページをご確認ください。

【観覧料】大人1,000円 / 学生（学生証提示）600円 / 小学生（7～12歳）300円

<本件に関するお問い合わせ先>

TEL.06-4256-1311 / FAX.06-4256-1312 / Mail.<info@osaka-ukiyo-e-museum.com>

<https://osaka-ukiyo-e-museum.com/>

